

議会報告会・意見交換会報告書

平成30年6月26日

茅ヶ崎市議会議長 白川 静子様

(委員会名)	環境厚生常任	委員会
(委員長名)	小磯 妙子	
(委員会名)	都市建設常任	委員会
(委員長名)	加藤 大嗣	

議会報告会・意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

日 時	平成30年5月27日(日) 10時 ~ 11時30分			
場 所	市議会全員協議会室A			
出席議員	小磯 妙子	小島 勝己	藤村 優佳理	松島 幹子
	花田 慎	永田 輝樹	山崎 広子	
	加藤 大嗣	小川 裕暉	新倉 真二	滝口 友美
	伊藤 素明	須賀 徳郎	広瀬 忠夫	
参加人数	8 人			
議会報告会	【報告の内容】 (報告者) <u>藤村 優佳理</u> 【質疑応答の内容】 別紙「議会報告会の質疑応答の概要」のとおり			
意見交換会	【意見等の内容】 別紙「意見交換会の概要」のとおり			
議会報告会・意見交換会から抽出した課題	別紙「議会報告会での課題について」及び「意見交換会での課題について」のとおり			

議会報告会での課題について

課題	議会報告会での意見等	議会報告会での議会側の対応
病院の運営と経営状況について	毎年赤字が続いているが、明確な改善策が示されていない。高度医療を目指すべきではないか。また、逆に外来患者を増やすべきではないか。	累積赤字が続いていることは議会としても問題と認識している。かかりつけ医を推奨しつつ高度医療が必要な場合は市立病院というように、市民が利用しやすい病院体系を図り収益につなげ、地域医療の連携を図るよう議会もチェックしていく。がん指定病院の見込みや、不採算でも市立病院として必要な診療などについて市民に理解してもらおうよう議会としてもチェックしていく。
ごみの有料化と減量化について	市が有料化を検討していると聞いている。その前に減量化を図るべきであるが、見解を伺う。	ごみ収集車の老朽化に伴う予算計上について、予算審議の中でも質疑があった。有料化の検討については、環境厚生常任委員会での政策提言に関係しているので、意見交換会で回答する。

※ 「課題」欄には、議会報告会で出された意見等の中から、課題として抽出した内容を記載してください。

※ 「議会報告会での意見等」欄には、課題として抽出した内容について、議会報告会の中で具体的にどのような意見等があったかを記載してください。

※ 「議会報告会での議会側の対応」欄には、議会報告会の中で、その意見に対して議会側がどのような対応(回答)をしたかを記載してください。

意見交換会での課題について

課題	意見交換会での意見等	意見交換会での議会側の対応
道の駅整備推進事業について	道の駅整備推進事業について市の健全財政の観点も踏まえ、実態はどうか。議会でも議論はされたのか。	オリジナルブランドの検討やオリンピックとの兼ね合いもあり、遅れないよう平成31年7月にオープンをしてほしいという要望はした。
公共施設駐車場の有料化について	公共施設の駐車場を有料にすることで、どのくらいの増収が見込めるか見解を伺う。	前年度と比べ平成30年度は約5800万円の増収となっている。市全体として受益者負担の効果が市民に周知されていないので、分かりやすい広報も含め議論を重ねていく。
ごみの有料化について	ごみの有料化の検討状況を伺う。	安易なごみの有料化では、ごみの減量化にもつながらない。また、市民の負担も増すばかりと認識している。委員会では、これから提言書をまとめるので、意見交換会で出された意見を参考に検討していきたい。
初診料の引き上げについて	初診料の大幅な引き上げはあってはならない。国に陳情を提出してほしい。	病院経営の改善も考える必要があるので、反旗をふるうことではないと考える。
高齢者の実態調査について	高齢者の実態調査について、人権侵害ということで嫌がる人がいる。その配慮をしてほしい。民生委員のなり手が少ない中で、調査を民生委員にさせるのか。	現在、国をあげて地域包括ケアシステムを構築しようとしている。調査時に高齢者の人権に配慮するのは、もっともである。高齢者に限らず、把握できていない実態を全て民生委員に依頼するのか、負担もあるので、地域でどう支えるか、また行政のサービスにどうつなげていくかは今後の課題としたい。

※ 「課題」欄には、意見交換会で出された意見等の中から、課題として抽出した内容を記載してください。

※ 「意見交換会での意見等」欄には、課題として抽出した内容について、意見交換会の中で具体的にどのような意見等があったかを記載してください。

※ 「意見交換会での議会側の対応」欄には、意見交換会の中で、その意見に対して議会側がどのような対応(回答)をしたかを記載してください。